

私たちの万博 ～EXPOあとがき便り～

関大万博部

ワクワクを巻き起こす 140人の挑戦者たち

「私たちがやらなきゃ誰がやる!」「万博のワクワク感を伝えたい!」
——そんな熱い想いを胸に結成された学生コミュニティ「関大万博部」。

「いのち輝く未来社会」の実現に向け、140人の学生が8つのプロジェクトでユニークな企画づくりと実践に取り組んだ。

2023年5月の結成から2年半、一度もその足を止めることなく活動続け、「縁」と「繋がり」を合言葉に学内外でイベントを運営。学生ならではの発想とエネルギーで万博を盛り上げた。

関大万博部の活躍なくして、万博での関大の存在感は語れない。



Student Voice
関大万博部共同代表
西山 美里さん
(環境都市工学部4年)

一級建築士という夢と学業の両立に葛藤しながらも、代表として万博部に全力で取り組んだ2年半でした。初めて本音で意見を交わし、心から笑い合える仲間に出会えたことは大きな幸せであり、かけがえのない財産です。0から1を生み出し、アイデアを形にする貴重な経験を重ねることができました。コロナ禍真っ只中の高校時代、苦しさの中で小さな希望をくれた万博は、今も私にとって「希望」そのもの。多くの出会いを通じて世界の広さを実感し、自分の可能性に蓋をせず未来を描く大切さを学びました。今後は万博で培った発想力を生かし、人を幸せにするデザインを創造していきたいです。



Student Voice
関大万博部共同代表
仲上 瑛人さん
(環境都市工学部3年)

この2年半は、未来を仲間と共に創る時間でした。活動の意味に悩む日々もありましたが、今は胸を張って「万博を盛り上げた」と言えます。万博を通じて「未来は自分たちで創れる」という確信を得ました。多様な文化や考え方、「好き」を共有し支え合える仲間と出会い、そのつながりの中で新しい自分に気づくことができました。この発見は万博があったからこそであり、未来への希望を強くしました。万博の真の成功は、この先の僕らにかかっていると思います。今も万博への情熱は冷めるところか、強く燃え続けています。万博を感じたこの世代全員で大阪、日本、そして世界を盛り上げ、未来へつなげていきたいです。

プロジェクト紹介

エモジケーションプロジェクト

絵文字で言語の壁をぶち壊す

未来の私たちへプロジェクト

非常食アレンジレシピで防災啓発

関係プロジェクト

クラフトコーラ&ビールで世界とつながる

Welcome EXPOプロジェクト

国際交流&多文化共生を推進

関大万博フェスタプロジェクト

キャンパス内に独自の万博空間を創出

関大EXPO食堂プロジェクト

UDFで食の多様性の理解を推進

ココミラプロジェクト

ココロおどるミライへ～Children, be ambitious.～

関大万博グッズ製作プロジェクト

万博オリジナルグッズで機運醸成

ボランティア

会場ボランティア・大阪まちボランティア

言葉を越えたコミュニケーションの楽しさを実感

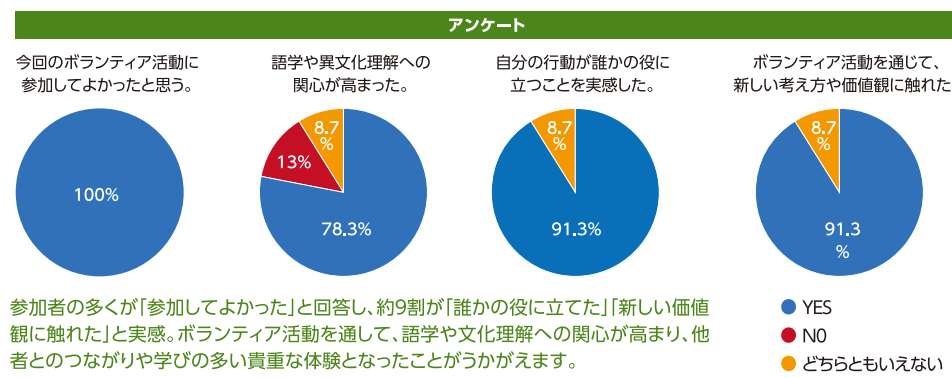
さまざまな国と日本の文化交流を関近で見ることができ、外国の方や小さなお子さまと関わる機会もありました。言葉だけでなく、表情やしぐさで気持ちを伝え合えることの大切さを改めて感じました。

人との関わりから学んだ多様な価値観

年代や背景の異なる方々とチームを組み、協力しながら活動を進めました。考え方や習慣の違いに触れ、人の多様さを肌で感じることでできたのは大きな学びでした。普段では得がたい貴重な経験になりました。

空港で広がった世界とのつながり

海外からの来訪者を空港でお迎えし、万博や交通に関する案内を担当しました。学び始めたばかりのスペイン語を使ったり、通訳アプリを通して英語圏や中国圏の方々と交流でき、世界とつながる喜びを感じました。



海外パビリオンスタッフ

挑戦の先に見えた、自信と仲間の大切さ

富田 奈津子さん (外国語学部3年)

半年間、スペインパビリオンのアテンダントとして来場者案内や誘導などを担当しました。初めは不安もありましたが、思い切って挑戦したことで大きく成長できたと感じています。来場者急増で変化が続く中でも、最後までやり遂げられたのは仲間や周囲の支えがあったからこそ。そうした感謝の気持ちを忘れず、この貴重な経験を今後の人生に活かしていきたいです。



万博で実感した、世界とつながる楽しさ

大畑 直毅さん (外国語学部4年)

イタリアパビリオンで来場者の案内や待ち列の整理、荷物の搬入・搬出を担当しました。応募のきっかけは、語学力を活かせると思ったこと。実際に働く中で、多くの国々が集う万博の魅力を実感しました。スタッフや他国の仲間との出会いは何よりの財産。世界がぐっと身近に感じられ、訪れてみたい国も増えました。



万博を彩った 関大の軌跡

関西大学は「万博をつくるのは、関大だ。」をスローガンに掲げ、学生や生徒にかけがえのない経験を提供するため、2022年に「関大万博プロジェクト」を立ち上げた。開幕前から閉幕までに実施したイベントは累計60件(うち万博会場内18件)にのぼる。イベントのみならず、産官学連携によるパビリオン運営、学生コミュニティ「関大万博部」、万博を学ぶ教養科目の開講、ボランティア派遣など、多様な取り組みを展開してきた。この間、他大学・企業・自治体・校友との共創を進め、「いのち輝く未来社会」に向けて多くの縁を育んだ。万博の閉幕は終わりではなく新たな出発点であり、関西大学はこの経験とレガシーを次世代へ継承していく。

関大万博イベント一覧

2023年度	
4/23 (日)	EXPO 大学関大キャンパス/梅田キャンパス
11/12 (日)	EXPO FES in 吹田/千里山キャンパス
11/20 (月)	関大防災 Day2023 ～広がれ! みんなの安全・安心!～/千里山キャンパス
11/29 (水)	グローバルフェスティバル[Pre Expo-in KU]/千里山キャンパス
12/10 (日)	まち FUN まつり 2023/千里山キャンパス
3/ 9 (土)	大阪公立大学 × 関西大学連携講座/大阪公立大学 I-site なんば
3/31 (日)	新入生歓迎の集い/千里山キャンパス
2024年度	
4/12 (金)	「まちごと万博」in 中津商店街/中津商店街
4/13 (土)	EXPO TRAIN 阪急号/阪急「大阪梅田」駅ほか
4/24 (水)	大丸梅田店地下催事「大阪ええ YOKAN」販売イベント/大丸梅田店
4/20 (土)	万博公式ボランティア説明会/梅田キャンパス
5/12 (日)	関大みらい～ねフェスタ①「関大ウォークフェスタ～みらいへの冒険～」/吹田みらいキャンパス
5/25 (土)	第 39 回吹田産業フェア「大阪・関西万博記念イベント」/吹田メインアター
5/31 (金)	世界禁煙デー「喫煙と健康に関する啓発キャンペーン」/千里山キャンパス
7/ 6 (土)	関大みらい～ねフェスタ②「あつまれみらいっ子!笑顔の花咲く関大体験」/吹田みらいキャンパス
8/ 3 (土)～8/4 (日)	サマーキャンパス「関大万博&SDGs 展示コーナー」/千里山キャンパス
9/15 (日)	「まるごとマーケット in 摂津 2024」/摂津市立コミュニティプラザ
10/20 (日)	関大クラフトビール「関杯」乾杯イベント/千里山キャンパス
10/27 (日)	関大みらい～ねフェスタ③「秋のファミリーフェスティバル」/吹田みらいキャンパス
11/ 1 (金)～11/4 (月)	第47回関西大学統一学園祭/千里山キャンパス
11/23 (土)	HH EXPO in 大阪梅田鉄道フェスティバル「関大パビリオン」/阪急「大阪梅田」駅
12/ 4 (水)～12/6 (金)	エコプロ(SDGs Week EXPO) 2024/東京ビッグサイト
12/15 (日)	まち FUN まつり 2024「関大万博プレフェスタ」/千里山キャンパス
2/22 (土)～2/23 (日)	大阪マラソンEXPO/インテックス大阪
3/16 (日)	大阪・関西万博開館記念[ACN EXPO EKIDEN 2025]/万博記念公園
3/20 (水)	関大みらい～ねフェスタ④「感謝祭“つながり”」/吹田みらいキャンパス
2025年度	
4/ 2 (水)～4/3 (木)	新入生オリエンテーション万博PRイベント/千里山キャンパス
4/ 2 (水)	関西大学留学生別科の新入生歓迎バーティン/南千里国際プラザ
4/ 6 (日)～10/13 (月)	年史資料展示室企画展「関大1970～万博のころを振り返る～」/千里山キャンパス
4/ 6 (日)	校友会ホームカミングデー～2025スプリングフェスティバル～/千里山キャンパス
4/ 9 (水)	宝恵駕(ほへかご)行列/大阪・関西万博フードコートほか
4/10 (木)～5/27 (火)	生協コラボ EXPO食堂メニュー販売①/千里山キャンパス

2025年度	
4/12 (土)	うめだ防災フェス/梅田キャンパス
4/26 (土)	関西 SDGs プラットフォーム大学分科会ユース万博「SDGs+Beyond アクション・ビジョン ピッチ・プレゼン」/大阪・関西万博 TEAM EXPO パビリオン
4/30 (水)～5/3 (土)	「阿波の国とくしま つむぐ CAFE」/大阪・関西万博 EXPOメッセ[WASSE]
5/ 1 (木)～25 (日)	人間健康学部・彦次ゼミ「万博健康スタンブラー」/大阪・関西万博会場内 5 カ所
5/ 1 (木)～21 (水)	大阪・関西万博部 × らぼっころボススイーツ 販売イベント/大阪・関西万博 フードコート (大阪のれんめぐり)
5/25 (日)	「巡縁祭」@高槻キャンパス祭/高槻キャンパス
5/31 (土)	関西未来対話フェス「若者が紡ぐ社会のかたち」/大阪・関西万博「電力館 可能性のタマゴたち」屋外ステージ
6/ 2 (月)～7/14 (月)	生協コラボ EXPO食堂メニュー販売②/千里山キャンパス
6/22 (日)	「巡縁祭」@高槻ミュージックキャンパス祭/高槻ミュージックキャンパス
6/22 (日)	「巡縁祭」@堺キャンパス祭/堺キャンパス
6/ 8 (日)	100年後の未来演劇&未来を切り拓くカタラ発表/大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「リボーンステージ」
6/29 (日)	「健康・ウェルビーイング」5大学連携 共創チャレンジ発表&展示/大阪・関西万博 TEAM EXPO パビリオン
6/30 (月)～7/4 (金)	関大万博フェスタ「巡縁祭」～学生向け～/千里山キャンパス
7/ 6 (日)	関大万博フェスタ「巡縁祭」～地域向け～/千里山キャンパス
7/ 2 (水)～7/6 (日)	第3回「日本国際芸術祭」/大阪・関西万博 EXPOメッセ[WASSE]
7/ 7 (月)	令和 OSAKA 天の川伝説/天満橋川の駅はちけんや
8/ 2 (土)	真夏に“涼”を届ける「夏祭り緑日イベント」/大阪・関西万博「電力館 可能性のタマゴたち」屋外ステージ
8/ 3 (日)	未来の交差点 × ドコモ「FUTURE YOUTH CITY」/大阪・関西万博 EXPO サロン
8/ 5 (火)～8/11 (月)	関西大学リボーンチャレンジ「Academia×REBORN ～学理と実際の調和～」/大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「リボーンチャレンジ」
8/ 9 (土)	関西・法政・明治大学連携合同シンポジウム「真のダイバーシティとWAI!」/大阪・関西万博 ウーマンズパビリオン「WAI」スペース
8/27 (水)	グローバル・アントレプレナーシップ・フォーラム/大阪・関西万博 オランダパビリオン
8/27 (水)・28 (木)	日本館レガシープロジェクト/大阪・関西万博 日本館
8/31 (日)	未来エネルギー全開!学生パフォーマンスショー/大阪・関西万博「電力館 可能性のタマゴたち」屋外ステージ
9/ 6 (土)	「TEAM EXPO」関大共創チャレンジの輪/大阪・関西万博 TEAM EXPO パビリオン
9/14 (日)～9/20 (土)	関大万博部デモキッチン～人と文化が繋がるサスティナブルな未来の食工房～/大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「デモキッチンエリア」
10/13 (月)	ワールド・イタリア・スポートデー/大阪・関西万博 イタリアパビリオン
11/15 (土)	関大前まつり/千里山キャンパス
11/17 (月)～29 (土)	SDGs&万博 Weeks/千里山キャンパス
12/14 (日)	まち FUN まつり 2025～万博レガシー編～/千里山キャンパス

「夢洲関大Days」&「関大万博Weeks」をプレイバック！

2025年4月13日から10月13日まで開催された大阪・関西万博の期間中、万博会場内では「夢洲関大Days」、キャンパス内では「関大万博Weeks」と題して、さまざまなイベントを実施した。その中から代表的な8つのイベントをピックアップして、当時の熱狂を振り返る。

イベントの全てがわかる「**関大万博**」特設サイトはこちら▶



商品開発

開催日 5/1(木)～21(水)

万博会場内最大級のフードコートで
「**関大万博部×らぽぽコラボスイーツ**
『**かんらぽサンド**』」販売

関大万博部と、白ハト食品工業株式会社が展開するさつまいもスイーツ専門店「らぽぽ」がコラボレーション。関大万博部が考案した非常食アレンジレシピを元に、「らぽぽ」が商品開発を手掛けた「かんらぽサンド」を、大阪・関西万博最大級のフードコート「大阪のれんめぐり～食と祭EXPO～」にて販売した。「かんらぽサンド」の内容は、食後のデザートに最適な「おいもといちごのスイーツサンド」と、食べ応えある濃厚な「生ハムエッグチーズサンド」の2種類。具材を挟むパンには非常食が用いられたが、サスティナブルだけではない、味も抜群のグルメな一品に仕上がリ、多くの来場者に好評だった。

演劇&発表

開催日 6/8(日)

大阪ヘルスケアパビリオン「リボーンステージ」で
演劇研究部「学窓座」と
北陽高生が躍動

関西大学演劇研究部「学窓座」と関西大学北陽高等学校の生徒がパフォーマーとなって、大阪の魅力、そして未来の可能性をそれぞれの持ち味を生かして表現。学窓座は、8/5～11の関西大学リボーンチャレンジ展に出展する企業の未来技術を題材に、「100年後の未来」という難しい世界観を見事に表現し、150人以上の観客から拍手喝采を浴びた。北陽高生は、ダンス部によるパフォーマンスに続いて、産学連携によるSDGs探究学習「刀」プロジェクトの成果を発表。10組のグループが登場し、聴覚障がい者向けの「SOSカード」開発、食による「健康」、高齢者向けのオリジナル健康体操、アスリート向けスイーツなど、ユニークな発表を繰り広げた。

万博版学園祭

開催日 6/30(月)～7/4(金)&7/6(日)

千里山キャンパスで
「**縁**」を巡る祭典
「**関大万博フェスタ～巡縁祭～**」
開催

関大万博部が主催となり、学生と地域、大学と社会、現在と未来を結び場として企画。6/30(月)～7/4(金)は関大生限定イベント、7/6(日)は地域向けイベントとして実施した。万博部はエモジによる言語の壁を越えたコミュニケーションをはじめ、世界の非常食事情や多様な食文化を学べる企画、世界各国の楽器や遊び、日本の緑日体験ブース、オリジナルクラフトコーラ作り、関杯コーラ&ビールの露店販売などを提供。さらに、産官学連携による展示や体験企画に加え、スポーツ教室や科学実験など大学ならではのコンテンツも提供され、ステージでは学生パフォーマーが熱い演舞を披露した。学生に加えて約4,000人の地域住民らが訪れ、多くの交流が生まれた。

研究力×技術力

開催日 8/5(火)～11(月)

大阪ヘルスケアパビリオンに
関西大学リボーンチャレンジ
「**Academia×REBORN ～学理と実際の調和～**」
出展

大阪が誇る中小・スタートアップ企業の技術等を発信する展示企画「リボーンチャレンジ」。実施主体のうち、本学は唯一教育機関として出展を果たした。「大学×企業が生み出すイノベーションの可能性」をテーマに、産学連携が成せる未来技術を延べ20万人超の来場者に発信。大学が有する最先端の研究力と、9つの企業が有する技術力によるシナジーによって描かれる未来社会とはどのような姿なのかを考え、100年後の未来の片鱗、そして理想の未来の本質に触れられる展示となった。また、関西大学漫画同好会の学生および校友漫画家のみづは梨乃氏、穂積りく氏とのコラボによる4コマ漫画、コロナ禍で活躍したアクリルパーテーションを活用した再生アートの展示も好評を博した。

大学間連携

開催日 8/9(土)

ウーマンズパビリオンで
関西・法政・明治大学連携合同シンポジウム
「**真のダイバーシティとWA!?**」開催

ウーマンズパビリオン「WA」スペースにおいて、3大学連携シンポジウム「真のダイバーシティとWA!?!～多様な人・理念・価値観が集まる大学キャンパスを舞台として～」を開催。多様性に満ちた大学キャンパスを題材に、これからの時代に求められるダイバーシティの在るべき姿について、各大学の総長・学長らが意見交換を行った。第1部では、真のダイバーシティを多角的に捉え、その本質に迫ることを目的としたパネルディスカッションを実施。第2部では、各業界でダイバーシティを推進する企業・団体をゲストに迎え、「True Celebration～成人式も、就職も、結婚も。自分らしく「祝える未来へ」をテーマに、それぞれの取り組み紹介や現場における課題などを共有した。

パフォーマンス

開催日 8/31(日)

電力館屋外ステージで
関大生200人超が
圧巻のパフォーマンスショー
を披露

電力館のテーマは「可能性のタマゴたち」。未来を担う学生たちは、まさにそのタマゴのひとつであり、無限の可能性で輝く未来を切り拓いていく。そんなエネルギーを多くの来場者へ届けるべく、本パフォーマンスショーが企画された。関西大学応援団の演舞で始まり、バトンを受け継いだのは関西大学初等部のキッズチアダンスチーム。続けて、関西大学空手道部、合気道部、書道部が登場し、日本文化を象徴する迫力と美を融合させたパフォーマンスで観客を惹きつけた。さらに、ダブルダッチサークル、大道芸サークル、吟詩部、お笑いサークル、アカペラサークルが次々と登場。それぞれの持ち味を存分に発揮したステージで多くの観客を魅了した。

共創チャレンジ

開催日 9/6(土)

TEAM EXPOパビリオン全棟貸切「**関大デイ**」で
小学生から大学生まで
400人超が活動成果を発表

小学生から大学生、教職員まで、未来に向けた挑戦「共創チャレンジ」に取り組んできたメンバーが集結。TEAM EXPOパビリオン全棟を1日貸し切り「関大デイ」とし、「TEAM EXPO」関大共創チャレンジの輪～Z世代が世界に発信する理想の未来社会&SDGs達成のタネ～」と題した活動成果発表会を実施した。関西大学初等部・中等部・高等部および北陽高校の児童・生徒、関大万博部やSDGsキャンパスサポーターをはじめとする関大生、さらにはSDGs事業において連携・交流実績のある法政大学生も招き、総勢50チーム400人超が展示やステージ発表を展開。来場者との対話や交流も重ねながら、数々の「共創チャレンジ」を通じて生まれた、未来社会に向けた多様なアイデアを世界へ発信した。

デモキッチン

開催日 9/14(日)～20(土)

大阪ヘルスケアパビリオン デモキッチンエリアに
「**人と文化が繋がる**
サスティナブルな未来の食工房」
出展

関大万博部の食をテーマに活動する3チームの集大成として企画された試食・試飲イベント。「いのち輝く社会」の実現に向け、食を通じて人と文化を繋ぎ、多様な価値を共有することに挑んだ。オリジナルクラフトコーラ「関杯」を活用し、交流の輪の拡大に取り組む「関杯チーム」は、コーラ作りの実演ワークショップを行い、計1,500杯を提供。食品ロスの削減や防災啓発を目的に活動する「未来の私たちへチーム」は、オリジナルの非常食アレンジレシピ6品、計540食を振る舞った。世界の食文化理解を図る「EXPO食堂チーム」は、関大独自のユニバーサルデザインフード「KUDFハンバーガー」を開発・提供した。